



平成 21 年 8 月 11 日

各 位

会 社 名 大日本スクリーン製造株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 橋本 正博  
(コード番号 7735 東証・大証 第1部)  
問 合 せ 先 理 財 部 長 太田 祐史  
TEL (075) 414 - 7155

### 業績予想および配当予想に関するお知らせ

未公表でありました平成 22 年 3 月期の業績予想および配当予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 連結業績予想

(1) 平成 22 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 21 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
今回発表予想 (A)	百万円 65,500	百万円 △14,000	百万円 △16,000	百万円 △11,000	円 銭 △46.33
(ご参考) 前年同期実績 (B) (平成 21 年 3 月期 第 2 四半期連結累計期間)	122,823	4,062	2,147	△1,263	△5.32
増減額 (A - B)	△57,323	△18,062	△18,147	△9,737	—
増減率 (%)	△46.7	—	—	—	—

(2) 平成 22 年 3 月期通期 (平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
今回発表予想 (A)	百万円 140,000	百万円 △20,000	百万円 △23,500	百万円 △15,000	円 銭 △63.18
(ご参考) 前期実績 (B) (平成 21 年 3 月期通期)	219,049	△4,509	△11,743	△38,190	△160.86
増減額 (A - B)	△79,049	△15,491	△11,757	+23,190	—
増減率 (%)	△36.1	—	—	—	—

### (3) 業績予想の概要

本年5月の平成21年3月期の決算発表時点では、当社の主要顧客である半導体・液晶パネルメーカーにおける設備投資動向の見通しが立たず、適切な予想値を算出することが困難であったため、平成22年3月期の業績予想については未定としておりましたが、今般、当第1四半期の受注状況等を踏まえた当期の売上見通しが可能になりましたので、現在取り組んでおります再建策の効果を含め、上記のとおり第2四半期連結累計期間および通期の業績予想を公表いたします。

今後の経済環境につきましては、中国における個人消費の持ち直しや各国の経済対策などにより世界的な景気後退に底打ち感は見られるものの、金融危機の実体経済への影響は大きく、本格的な回復の時期につきましては依然として不透明な状況であります。

当社グループを取り巻く事業環境では、半導体・液晶パネルメーカーの工場稼働率に改善の動きがみられるとともに、液晶テレビやネットブックなどの更なる需要増加が期待されております。しかしながら、先行き不透明感から、本格的な設備投資の再開には至っておらず、当面、非常に厳しい状況が続くものと予想されます。

当社グループでは、今回の事業環境の急激な悪化を受け、事業の見直し、組織・事業所の統廃合、人員削減等を柱とする再建策に取り組んでおり、400億円規模のコスト削減による損益分岐点の大幅な引き下げを目指しております。再建策につきましては、これまでに実施した工場の一時休止、営業拠点の統廃合、グループ企業の整理・統合、希望退職による人員削減などを含め、現時点において目標額の約8割強について達成の目処をつけており、来期の黒字化に向け着実に進捗しております。

かかる状況のなか、平成22年3月期の業績につきましては、液晶パネルメーカーにおける設備投資抑制の影響から FPD 製造装置の売上が急減する見込みであるとともに、主力の半導体製造装置も前下半期に続き低迷することが予想されます。さらに、画像情報処理機器につきましても、世界的な景気後退の影響から低調に推移すると見込まれることから、当社グループの売上は前期に比べ大幅に減少する見込みであります。利益面につきましては、再建策によるコスト削減効果は見込めるものの、大幅な売上減少により、営業損失および経常損失の悪化を予想しております。

当社グループでは、引き続き再建策に注力しコスト削減を進めるとともに、受注の確保、収益性の向上に努めてまいります。

(注)上記業績予想の前提となる当期の為替レートは1米ドル=95円、1ユーロ=135円を想定しております。なお、業績予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 配当予想

### (1) 予想の内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
今回発表予想	—	0円00銭	0円00銭
前期(平成21年3月期)実績	—	0円00銭	0円00銭

### (2) 配当予想の概要

平成22年3月期の期末配当につきましては、本年5月時点では未定とさせていただいておりますが、上記の業績予想のとおり、売上の大幅な減少が避けられず多額の損失を計上する見込みであることから、誠に遺憾ではございますが、無配とさせていただきたく存じます。

以上